



『バーチャル札幌駅JRタワー さつえき world』がオープン！
世界最大級のメタバースイベント『バーチャルマーケット2024
バーチャルとリアル
新たな札幌駅が登場

札幌駅総合開発株式会社
とJR北海道では、七月二十
日に「札幌駅南口広場」や北
海道新幹線札幌延伸に伴う
札幌駅改修によって閉鎖され
た旧パセオで待ち合わせ場所
として人気のあった「水の広
場」を、『バーチャル札幌駅JR
タワー さつえき world』と
して、インターネット上の仮想
空間メタバースにオープンしま
した。

メタバース上の札幌駅南口



しています。

また今後はJRTワウの最新情報やイベント情報を発信する他、フアッションショーや季節のイベントの開催など、バーチャルとリアルの連動も計画

メタバース上の札幌駅南口
広場は、山や川に囲まれた北海道ならではの風景が楽しめる空間。3Dで制作した北海道新幹線を間近で見ることができたり、網走市及び北見市の自治体ブースが登場するなど、北海道の魅力を発信するコンテンツを多数用意し、全世界にアピールしています。利用料は無料。初の試みとなったこの新たなサービスに大きな注目が集まりました。

世界最大級イベントへ
札幌駅を世界にPR

初日の七月二〇日から八月四日まで、世界最大級のメタ



JRタワーと札幌駅南口広場

「パースイベント『バーチャルマーケット2024 Summer』」に初出展したことも話題に上っています。企業出展会場の「パリアルドバイ」にあるブース内では、常夏に舞い落ちる雪を楽しめたほか、北海道の魅力がちりばめられ、その内容にも注目が集まりました。ブース内に設置されたボタンを押すと警笛が鳴り、魔法陣から北海道新幹線が出現。来場者の操作で、自身がJRタワーマーのバッテリーに着替えて会場内を自由に動き回れたことも好評を呼んでいます。

毎回、世界から百二〇万人以上が集まるバーチャルイベントだけに、札幌駅と北海道新幹線を効果的にPRできたことは大きな成果です。JR北海道グループでは、今後も新しい時代に向けた試みに積極的に取り組んでいきます。